

東京湾海況情報 29-7

東京湾水質調査結果 (平成29年10月)

(平成29年11月2日発行)

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 10/2：内湾(ふさなみ)、内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(10/2)、東京湾口海況図(10/2)
 モニタリングポスト (10/2：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)
 神奈川県水産技術センター (10/2)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温は22.6～23.4℃で平年より0.1～1.2℃高めでした(図1)。塩分は22.6～30.2で平年より0.8～3.1低めでした。

内房海域の表層水温は22.9～25.3℃で平年より0.4～1.6℃高めでした。塩分は30.2～33.7で平年より0.3高め～1.8低めでした。

塩分33.5以上の水塊が内湾中央部(J5)の水深12mまでみられました(図2,3)。
 ※平年との比較は主な調査点(表1)で行いました。

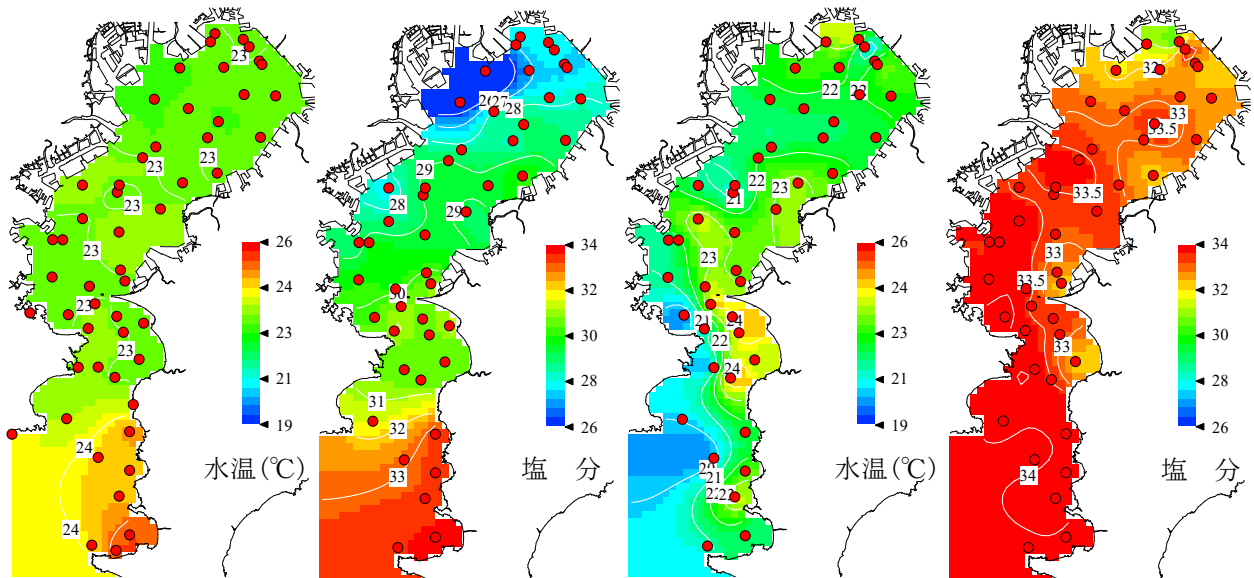


図1 水温・塩分分布(表層)

図2 水温・塩分分布(底層)

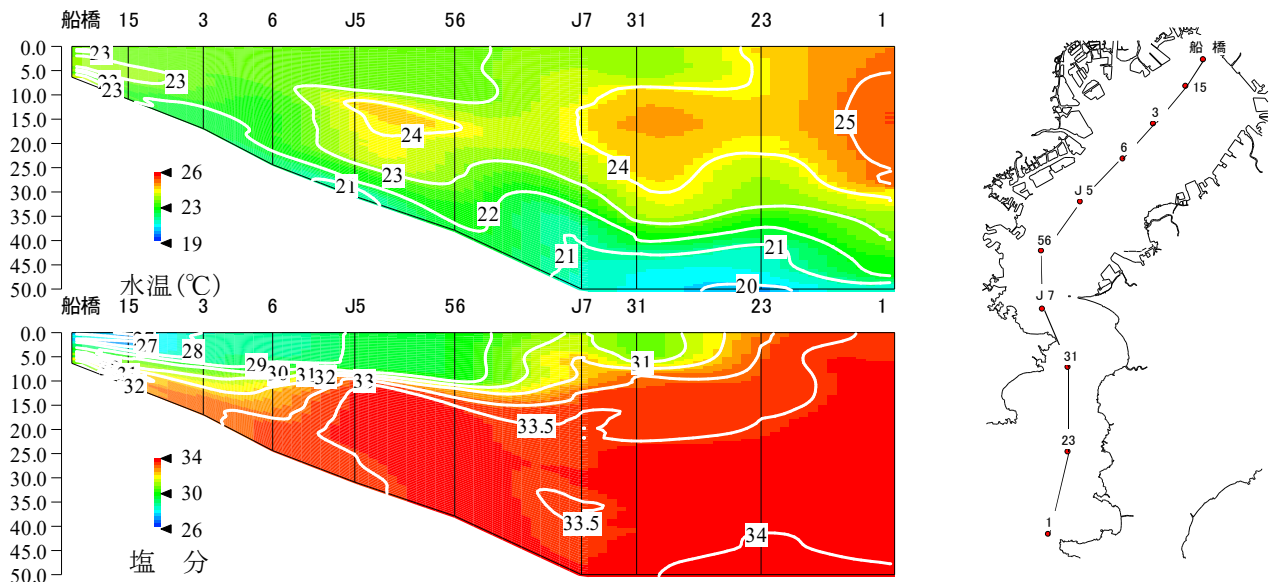


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は浦安沖、木更津沖（9）、久里浜沖（31）で確認されました（図4）。
 優占種は内湾が珪藻シュードニッチア、内房が珪藻シュードニッチア及びキートセロスでした。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μg/L以上

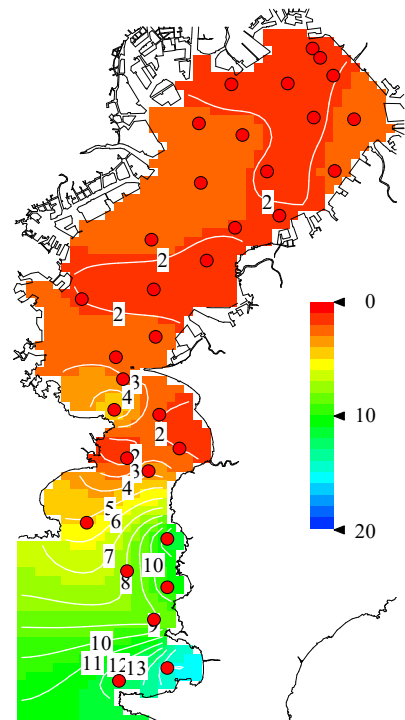


図4 透明度の分布(m)

【 貧酸素水塊の状況 】

貧酸素水塊は内湾北部の水深8 m以深に分布していました（図5, 6）。

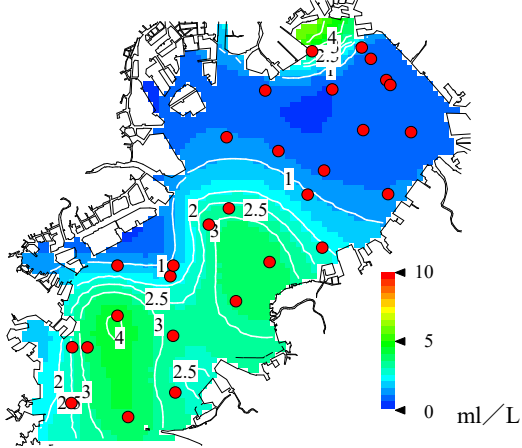


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

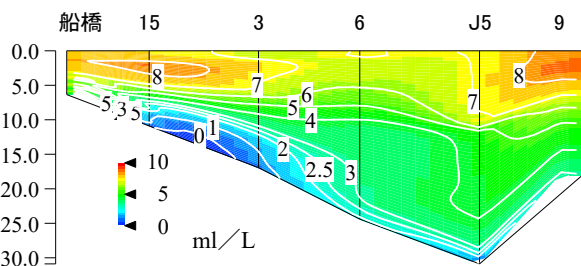


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L（酸素飽和度50%）以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内表層の窒素(DIN)は平年の2～61%と少なめでした(図7)。

湾内表層のリン(DIP)は赤潮が見られた久里浜沖で平年の377%と多めでしたが、他は平年の13～85%と少なめでした。

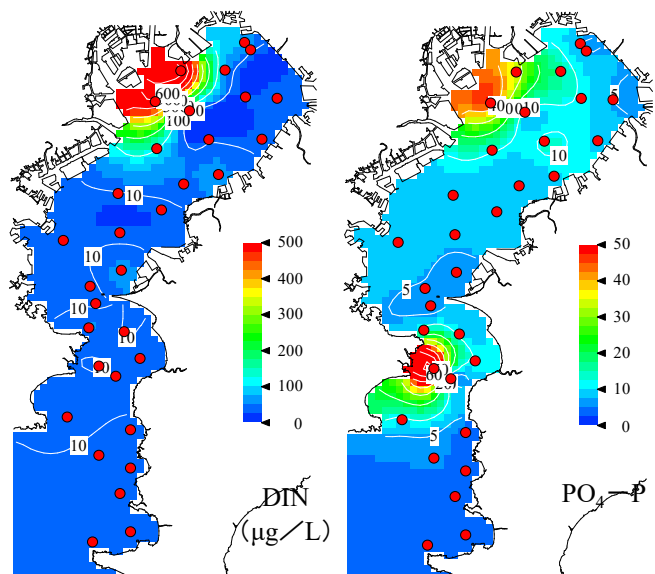


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は遠州灘南方で蛇行し、伊豆諸島付近を北上するA型流路で、房総半島沿岸に接岸していました(図8)。

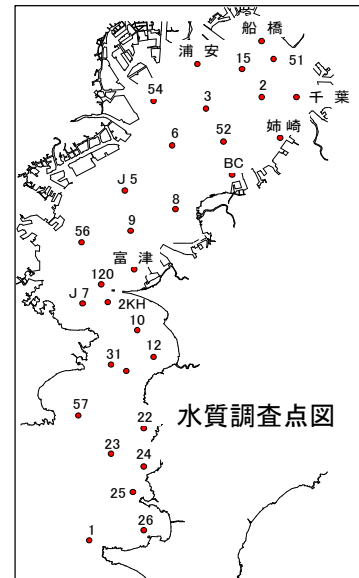
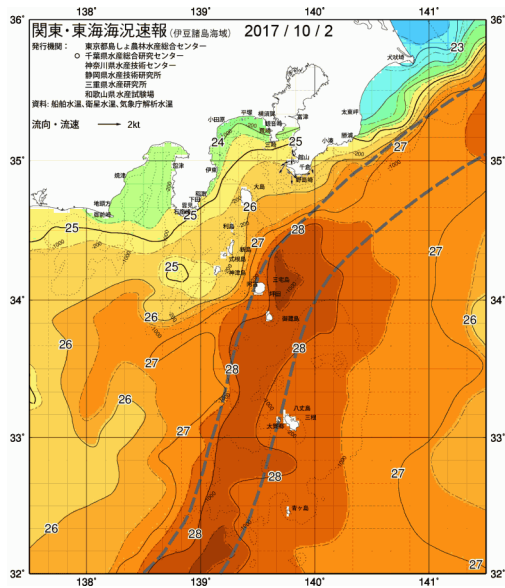


図8 黒潮の動き (平成29年10月2日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2007~2016年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	
内湾	船橋	23.0 (22.6)	27.8 (30.4)	1.9 (2.2)	8.6 (8.3)	3.0 (1.9)	0.0 (62.2)	50.7 (219.4)	5.0 (33.3)
	st.15	22.9 (22.3)	26.8 (29.9)	1.8 (2.2)	8.8 (8.4)	0.4 (1.8)	0.0 (19.9)	48.9 (155.1)	14.5 (17.0)
	st.3	22.8 (22.2)	28.2 (29.5)	2.5 (2.8)	8.7 (8.4)	0.4 (1.2)	0.0 (53.6)	8.2 (323.1)	7.5 (22.4)
	st.6	22.7 (22.0)	28.2 (30.1)	2.5 (3.1)	8.6 (8.4)	1.8 (2.4)	5.5 (24.4)	119.4 (194.2)	11.6 (17.1)
	st.9	23.4 (22.1)	29.2 (30.4)	1.4 (4.6)	8.7 (8.3)	2.9 (3.4)	0.0 (29.8)	3.5 (216.1)	5.9 (23.6)
	st.BC (盤洲Cブイ)	23.0 (22.9)	30.0 (30.8)	2.1 (2.8)	8.6 (8.3)	2.0 (2.7)	0.0 (28.8)	31.7 (141.0)	7.1 (26.8)
	st.8 (盤洲A南)	23.1 (22.2)	28.9 (31.0)	1.7 (3.7)	8.8 (8.3)	3.3 (2.7)	0.0 (39.6)	3.4 (182.5)	7.2 (29.0)
	富津	23.1 (22.1)	30.1 (31.3)	2.7 (5.1)	8.3 (8.2)	2.7 (3.7)	0.0 (54.3)	33.4 (239.5)	3.5 (26.1)
	内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	23.1 (22.1)	30.8 (31.8)	3.0 (5.3)		0.0 (38.0)	6.4 (189.9)	3.8 (24.6)
st.31		23.2 (22.3)	30.3 (32.0)	1.5 (8.0)		6.3 (21.3)	8.4 (142.5)	71.0 (18.9)	
st.23		24.3 (23.1)	32.9 (33.0)	8.0 (12.2)		0.0 (12.7)	2.9 (74.6)	3.2 (8.3)	
st.1		24.2 (23.4)	33.6 (33.3)	13.0 (15.2)		0.0 (19.3)	6.1 (46.0)	1.0 (5.7)	
st.10 (下洲沖)		23.0 (22.2)	30.5 (32.0)	2.0 (5.1)		0.0 (22.8)	8.3 (161.7)	7.7 (18.5)	
st.12 (湊沖)		22.9 (22.5)	30.2 (32.0)	2.0 (5.2)		0.0 (15.7)	24.0 (116.9)	9.4 (15.3)	
st.22 (保田沖)		24.7 (23.2)	33.5 (33.3)	12.0 (12.5)		0.0 (12.8)	2.7 (45.2)	1.2 (5.8)	
st.24 (富山沖)		24.3 (23.2)	33.2 (33.3)	11.0 (13.1)		0.0 (12.9)	2.5 (38.0)	1.9 (5.3)	
st.26 (館山湾内)		25.3 (23.7)	33.7 (33.6)	16.0 (12.8)		0.0 (16.1)	2.6 (32.6)	0.9 (5.7)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。